

“いま”を考えるトークシリーズ Vol.25

作：ピンク地底人3号、演出：生田みゆき『燃える花嫁』連携企画

生田みゆき (演出家) × 大澤優真 (ソーシャルワーカー) トーク

「わたし」と「あなた」の境界を越えて
「想像力」から他者との共生を考える

2025年5月16日(金) 19:00 開始 (21:00 終了予定)

ロームシアター京都
パークプラザ3階共通ロビー

参加無料 (申込優先)

詳細はこちら



作：ピンク地底人3号、演出：生田みゆき『燃える花嫁』連携企画

生田みゆき（演出家）×大澤優真（ソーシャルワーカー）トーク

「わたし」と「あなた」の境界を越えて 「想像力」から他者との共生を考える

クルド人コミュニティに取材し、「共生」と「排除」を問う

演劇作品『燃える花嫁』との連携企画

文学座所属、演劇ユニット「理性的な変人たち」メンバーで、社会の切実な事象に演劇の手法で切りこむ演出家・生田みゆき氏と、『生活保護と外国人』（明石書店）などの著書があり、「つくろい東京ファンド」の生活支援スタッフをはじめ、ソーシャルワーカーとして支援活動が続ける大澤優真氏をお迎えし、共に生きる他者にたいしての想像力の在り方について、状況を知るとともに、想像力で他者に接近する演劇のアプローチを重ね、共に考えていきます。

生田みゆき | Miyuki Ikuta

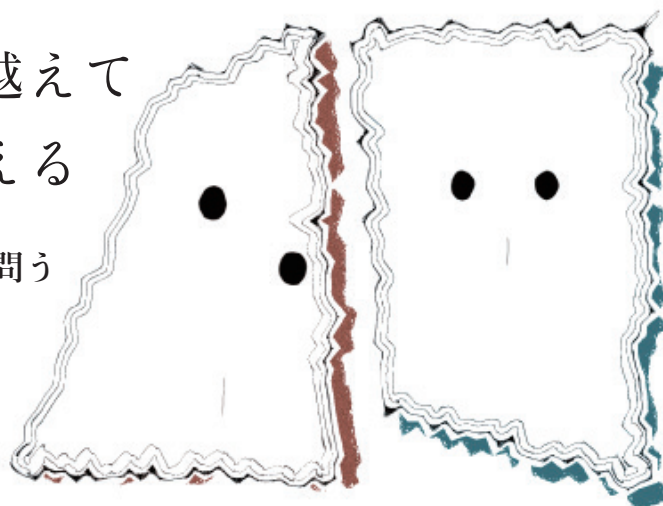
演出家。文学座所属、演劇ユニット「理性的な変人たち」メンバー。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。ドイツ文化センターの文化プログラムの語学奨学金（芸術分野対象）を得てドイツに滞在（2016年夏）。名取事務所公演でパレスチナ演劇上演シリーズ2023年2月『占領の囚人たち』を演出したほか、近年の演出作に『建築家とアッシリア皇帝』『海戦2023』『アナトミー・オブ・ア・スーサイド 一死と生をめぐる重層曲一』など。『占領の囚人たち』『海戦2023』『屠殺人ブッチャー』にて第31回読売演劇大賞優秀演出家賞、『占領の囚人たち』ほかで芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。



撮影：日下諭

大澤優真 | Yuma Osawa

1992年千葉県生まれ。2013年から生活困窮者支援に関わり、近年は特に困窮する難民・仮放免状態にある困窮外国人の支援活動を行う。NPO法人北関東医療相談会・理事、一般社団法人つくろい東京ファンド・生活支援スタッフ、移住者と連帯する全国ネットワーク・運営委員など。社会福祉士。博士（人間福祉）。大学兼任講師。近著に『生活保護と外国人』『外国人の生存権保障ガイドブック』（共著）など。
<https://yumaosawa.com/>



お申込み（予約優先）

当日お席がある場合は申込無しでもご参加いただけます。

・専用フォーム→



・FAX

075-746-3366

「5/16 いまトーク」、お名前、
参加人数、連絡先を明記

いまトークとは

複雑化し、混迷する現代を「いかに生きるべきか」。「いま」を考えるトークは、その手掛かりを探り、ともに考えるためのトークシリーズです。多様な角度から同時代の社会を知り、捉え直すためのトピックを挙げ、それにまつわるゲストを招きます。

お問合せ

ロームシアター京都
〒606-8342
京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（10時～17時）

関連演劇公演

『燃える花嫁』作：ピンク地底人3号 演出：生田みゆき

日程：6月20日（金）19時開演、6月21日（土）14時開演

会場：ノースホール

チケット：一般3,500円、ユース（25歳以下）2,000円 他

「共生」と「排除」に揺れる国の未来に一石を投じる問題作

架空の日本。多くの難民が暮らす第4地区で、在日外国人のキリノユウスケは解体業を営みながら、娘のアカリと慎まじやかに暮らしていた。しかし住民票を持たず、税金を納めていないことを理由に、彼らと日本人との間で激しい衝突が起こり始める……。新進気鋭のピンク地底人3号の戯曲を、文学座の生田みゆきが演出する、近未来社会劇。



制作：名取事務所

詳細・チケット購入
はこちら！



写真左上より、みのすけ、松本紀保、清水明彦、鬼頭典子
左下より、平体まひろ、森尾舞、西山聖了、山下瑛司

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto